

学校法人村上学園 村上学園 NEWS

二〇二〇年(令和二年)十一月 日発行
発行元(発行責任者)
学校法人村上学園 法人事務局
参事(広報担当) 寺川 誠
東大阪市西堤学園町三二一
電話 〇六六七八一二四四四
URL <https://www.murakamigakuen.jp/>



学園のシンボルの鹿(10/17撮影)

☆紙面案内

- 1面: 審査員特別賞受賞
(国連WFPチャリティエッセイコンテスト)
アスリート寮地鎮祭
「あんしん」のたわごと⑧
- 2面: 附属幼稚園の教育実践
- 3面: 附属幼稚園の教育実践
あの人この人⑤
- 4・5面: Murakamigakuen
Art-Gallery(10)
- 6面: 敬愛高校体育祭他
編集後記

国連WFPチャリティエッセイコンテスト2020

今年も審査員特別賞(一八歳以上部門)受賞

中澤桜子さん(東大阪大学短期大学部実践食物学科一年次)

二〇二〇年一〇月一六日(金)、中澤桜子さん(実践食物学科栄養士コース一年次)が、「国連WFPチャリティエッセイコンテスト2020」で、「審査員特別賞(一八歳以上部門)」を受賞しコンテストサイトに受賞エッセイの全文が掲載されました。

おめでとうございます！

本エッセイコンテストのテーマは、「みつめた！ わたしの元気ごはん」。応募一作品につき、途上国での給食三日分にあたる九〇円が寄付される仕組みとなっており二〇二〇年は過去一〇年間で最多の二九〇五通もの作品が全国から寄せられ、二〇六万一千四五〇円が三社の寄付協力企業(昭和産業株式会社、日清食品ホールディングス株式会社、三菱商事株式会社)より寄付されます。これにより、約六万八七〇〇人の子どもたちに学校給食が届けられます。

本エッセイコンテストには、昨年本学短期大学部二年次の蘇森さんが審査員特別賞を受賞しており、二年連続の受賞となりました。

審査員特別賞受賞作品

「私は二度、震えた」

中澤 桜子 (なかざわさくら) さん
東大阪大学短期大学部一年

つらかった。一言で言うてしまえば簡単だ。私の父は、私が小学校五年生の時に倒れ、脳梗塞になった。未だに右半身がうごかない。その後、母は専業主婦から資格を取り介護士へ。慣れない夜勤の仕事で何度も倒れた。父が倒れたその日から家族の生活が変わった。私はご飯家事担当になったのだ。学校から帰れば朝のうちに洗っていた洗濯物を取り込み、ご飯を作った。もう九年もその生活を続けた。だから慣れていると、そう思っていたんだ。あの日は。あの日には雨だった。そうそう、丁度自粛期間中。雨の中スーパーに行き、数日分の食料を買ったんだ。今思えば限界なんてとっくの昔に通り過ぎていた。我慢をしすぎて自分の中の何が壊れていたなんて知らなかった。男の人はご飯の時間に決まってくる。なんでもい

い「その言葉を鵜呑みにするほど私は馬鹿ではない。でもその日は、少し手を抜きたかったんだ。私は台所に白菜、豚肉、大根を並べた。そう、白菜と豚肉と大根のミルフィーユだ。簡単でおいしい、なんて素敵なお料理なんだ。その時、私に対してのある言葉が聞こえた。兄だ。「こんないらん、食わへん」。私は耳を疑った。毎日毎日献立を考え、父の病気が悪化しないように栄養面も考え、兄の口に合うように味付けもしていた。私は気が付けば台所の扉を開け、泣いていた。震えながら。九分間の思いが、その時初めて爆発したのだ。唯一、一人の時間をくれる台所で、思う存分泣いた。さあ、ご飯を作ろう。そう思った時、携帯が鳴った。母からのLINEだ。「冷蔵庫におにぎりのあるから食べて」すぐ冷蔵庫を見た。兄たちに取られないように「桜子へ」とラップに書いていた。わかめおにぎりだ。それを頬張りながら私はまた、泣いていた。震えながら。はたから見たら栄養満点ではないかもしれない、百点満点ではないかもしれない。それでも、あのわかめおにぎりは百点満点。いや、それ以上だった。

中澤さんは、「この度はこのような素晴らしい賞を頂き本当にありがとうございます。今年度はコロナウイルスの影響で、たくさんの方が苦しみ、心の余裕も失っていたかと思えます。その中で実体験を綴ることでチャリティに参加し、誰かの食を支援できる機会をくださったことに感謝いたします。エッセイを書いたのもこのようなコンテストに挑戦したことも初めてだったのですが、改めてこの時期だからこそ書いた作品だったと思えます。この度はありがとうございます。と、自分の思いを伝えていきます。

一〇月八日(木)、小雨が降る中、東大阪大学柏原高等学校アスリート寮の建設の安全や寮生活での安全や健康を願い、地鎮祭が、執り行われました。

東大阪大学柏原高等学校 アスリート寮「地鎮祭」を執り行いました

当日は、雨が降り続き、足元がぬかるみ、肌寒く良い天気とは言えないくらい天候ではありませんでしたが、キンキマネジメント株式会社、ス

地鎮祭となりました。

一連の儀式の後、地鎮祭の場所で記念写真を撮影することができました。

アスリート寮の着工は、当初予定より二か月ほど遅れますが、一月四日の予定で竣工は二月末頃から三月初旬になるだろうと思われまます。その後入居が始まる運びとなっております。

今後、順次建設途中の様子などを、掲載していく予定です。来年、入寮予定のアスリート諸君、完成を楽しみにしておいてください。



地鎮祭会場



地鎮祭が終わって記念撮影

「あんしん」のたわごと⑧

私の好きな世阿弥のことば

- ・初心 忘るべからず
- ・ときどきの初心 忘るべからず
- ・老後の初心 忘るべからず

しかれば、当流に、万能一徳の一句あり。
初心不可忘。

この句、三箇条の口伝あり。
是非初心不可忘。
是非初心不可忘。
時々初心不可忘。
時々初心不可忘。
老後初心不可忘。(「花鏡」奥段)

若き教師時代、教師として夢や自分なりに語った目標があります。その夢や目標が、教師にとって大きな大切な意味があり、そのことが初心であります。教師が若き日に描いた夢とは、「初心」に他ありません。

「初心」とは、生涯かけて自分にとっての目標を深く見据え、胸に刻むということでありまます。「初心忘るべからず」とときどきの初心忘るべからず。「老後の初心 忘るべからず」、この三つのことばが教えているのは、そのような夢や初心を胸に刻んで仕事の道を歩んだ人間と、そのような夢や初心を持たず歩んだ人間とは、長い仕事の道程を通して、あまりにも大きな差が生まれてしまうことを、深く心に銘ずべきです。

(故岡崎安伸先生の遺稿より)

東大阪大学附属幼稚園では、園児の創造力や表現力、観察力などを育むために、素材や画材を工夫しながら、楽しく力を十分発揮でき、意欲的に取り組める絵画制作を目指しています。園児が家庭や幼稚園での生活を通して気づいたことを、園児自身の表現しようとする意欲を受け止め、園児が個性豊かに多様な表現を楽しむことができますように心がけています。

こいのぼりの共同制作、母の日・父の日のプレゼント制作、七夕飾り、運動会の壁面を飾る作品、お雛様制作など、季節や行事に合わせて制作に取り組んでいます。これまで制作してきた作品を掲載します。

実践事例「絵画制作(表現する)」

東大阪大学附属幼稚園



たことを、園児自身の表現しようとする意欲を受け止め、園児が個性豊かに多様な表現を楽しむことができますように心がけています。

るように心がけています。



年長組の作品

年長組

敬老の日のハガキ・・染め紙をして手で紙をさいてコスモスの花びらを作り、クーピーで葉っぱを描きました。

メッセージはお家の人と描いて大好きなおじいちゃん、おばあちゃんに届くように、幼稚園の近くの郵便局にみんなで投函にいきました。



年長組

万国旗……園児たちが描いた国旗の一部を紹介します。(一部しか取り上げられないのが残念ですが……)

一人ひとり好きな国旗を自分で選び、アクリル絵の具で色付けして仕上げました。

運動会当日、子どもたちの色とりどりの万国旗が会場を飾りました。

年長組

折り紙を切ったり、糊で貼り付けて、色々な七夕の飾りを作りました。短冊には、思い思いの願いを書き、笹の葉に飾りました。(七夕会の様子は、村上学園NEWS第10号に掲載しています。)



年中組の作品

8月(かき氷)、9月(月見)、10月(紅葉)、それぞれの月の雰囲気が出るように、絵の具を塗ったり手型を押しているいろいろな物を表現した壁面環境を、年中組の1クラスずつで作りました。



年長組の作品



一人ひとりのトウモロコシに顔を描きました。たくさん表情豊かなトウモロコシの完成です。エントランスの壁面を飾ります。



卒園した頃に布施駅や周辺の駅や自転車置き場に掲示されます。

年少組の作品



玄関前運動会看板の旗：クレパス遊びを楽しみながら、自分の顔を描く練習をしました。

本番では自分の顔を思い浮かべながら、旗に一生懸命描きました。一人ひとりの思いの詰まった個性豊かな顔が描けました。子どもたちは、お家の人に見てもらえるかな?とワクワクしていました。



母の日・父の日のプレゼント。思いを込めて一所懸命作りました



「あの人この人」⑤

村上学園に在籍する貴重な人材を紹介するコーナー「あの人この人」⑤は、東大阪短期大学部実践保育学科講師柿内貞宣先生を取り上げました。東大阪市立中学校で長年陸上競技の発展に尽力されてこられた元東大阪市立弥刀中学校陸上部顧問陸上先生に寄稿していただきました。

柿内貞宣先生

〜陸上競技一筋の人生〜

元東大阪市立弥刀中学校

陸上部顧問 陸上先生

私が柿内先生と初めて話をしたのは、東大阪市の中学校陸上部の先生たちとの歓迎会の席でした。もう二〇年も前のことです。以前から、奈良の競技会などで面識はありましたが、実際に話してみると、温厚で気さくな先生だという印象を受けました。それ以来競技会場や講演会でも、そして自分が指導している弥刀中学校の生徒たちもお世話になりました。練習会は勿論、さらには年に一度の三月の研修旅行では、夜遅くまで陸上競技や人生についての貴重なお話を伺い、大変勉強になりました。

柿内貞宣先生の略歴

経歴
昭和五四年〜平成一三年(二三年間) 奈良市立伏見中学校、奈良市立京西中学校 陸上部の指導
平成一四年〜

東大阪大学敬愛高等学校陸上部の指導

指導実績

(中学校) …奈良県、近畿、全国優勝を成し遂げる
(高等学校) …高等学校総合体育大会(インターハイ) 総合優勝、国民体育大会優勝
(大学) …世界ジュニア、世界陸上への出場選手を多数輩出

先生の良さ

○選手個人の能力(好き)を伸ばすことを優先し指導してくれる

○集団生活がどういったものであるか、集

団の中の個人の必要性を磨いてくれる

○選手の能力を信じ、目指す場所を指し示し、背中を押してくれる信頼できる存在である。

○常に研究し工夫することが得意である。

(競技力向上のため、選手とともに学習してより効果の上がるトレーニングを組み立てている)

○細かな計画を立てるのが得意である

(トラックづくり等、一から自分で計画して作り、自らグラウンドに立ち白線を引く)

○二〇〇〇数年間、四〇〇m、八〇〇m、マイルリレーの歴史と実績を作り続けている。

○「石の上にも三年」ということばがあります。先生は、「石の上にも三年」のつもりで、生徒は卒業してしまおうから、「石の上にも一年、その二年で取得することが大事」と言われている。

○練習時間は必ずグラウンドにおいて、座らず常に立ち、選手とコミュニケーションをとる。とりやすい位置で指導にあたっている。

○奥さんの理解があつてこそ陸上競技ができるということ、家庭を大切にしている。

このように、柿内先生の愛情あふれた指導と個人(選手)の熱意があつてこそ、東大阪大学・東大阪大学敬愛高等学校陸上部の実績につながったと思います。これから、柿内先生の育てた選手(生徒・学生)たちが、日本はもとより世界(オリンピック)で活躍することを祈っています。



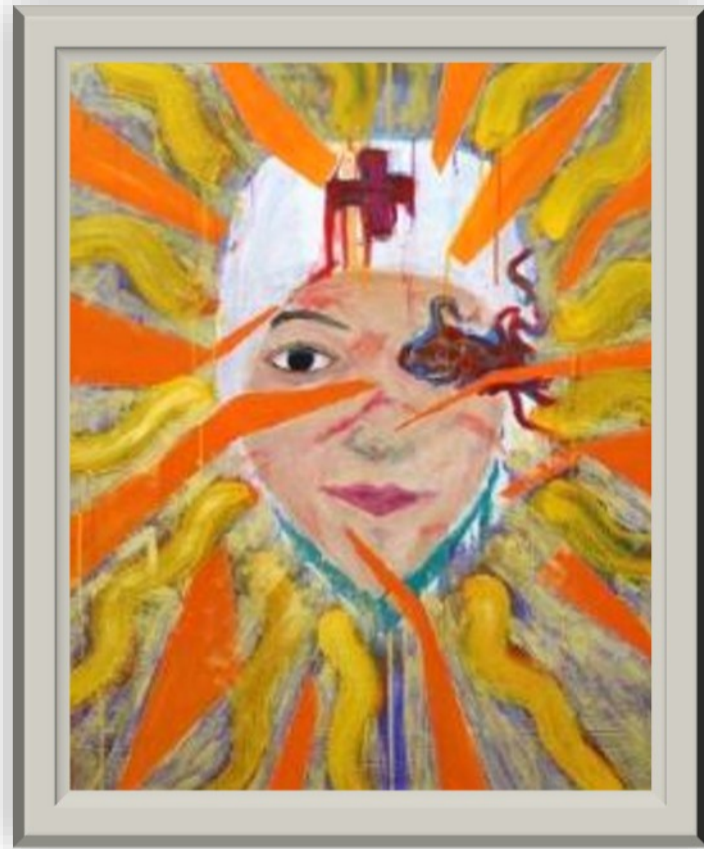
柿内貞宣先生



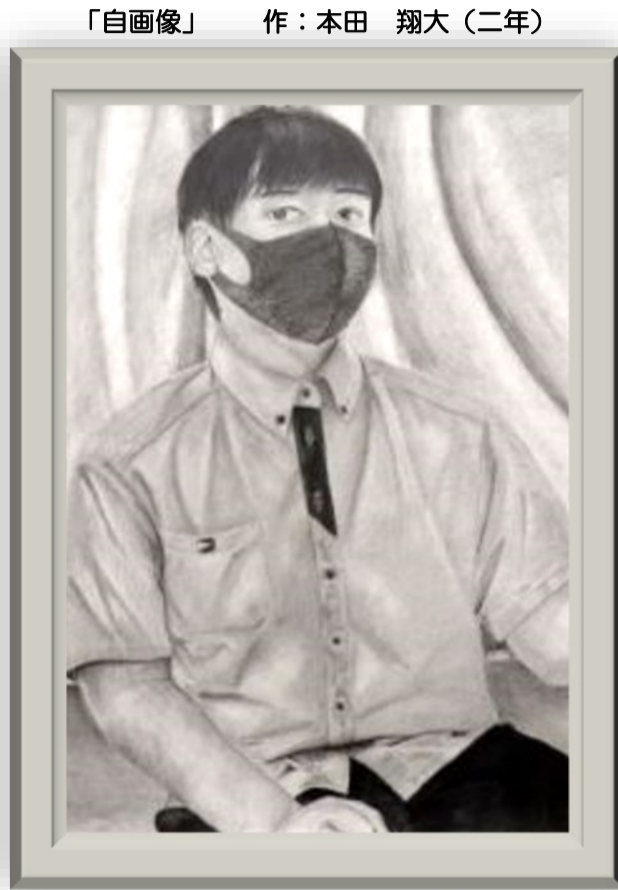
毎年、夏季休業期間中に大阪市立美術館で開催されていましたが「大阪私学美術展」が、今年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から、WEB上での開催に切り替えられ、10月12日(月)より11月15日(日)までの開催となっています。東大阪大学柏原高等学校では、美術コース生を主に美術部員の作品を合わせ13作品(内訳: 絵画部門に2作品、デザイン部門に1作品、イラスト部門に10作品)を出展しています。Murakamigakuen Art Gallery(10)ではその作品を紹介しています。

Murakamigakuen

第69回 大阪私学美術展(10/1~11/15)



「疲れ」 作: 小林 (三年)



「自画像」 作: 本田 翔大 (二年)



「桜」 作: 橋本 朱飛 (二年)



「梅田駅前」 作: 植松 千祐 (二年)



「夏祭り」 作: 養原 匡哉 (二年)

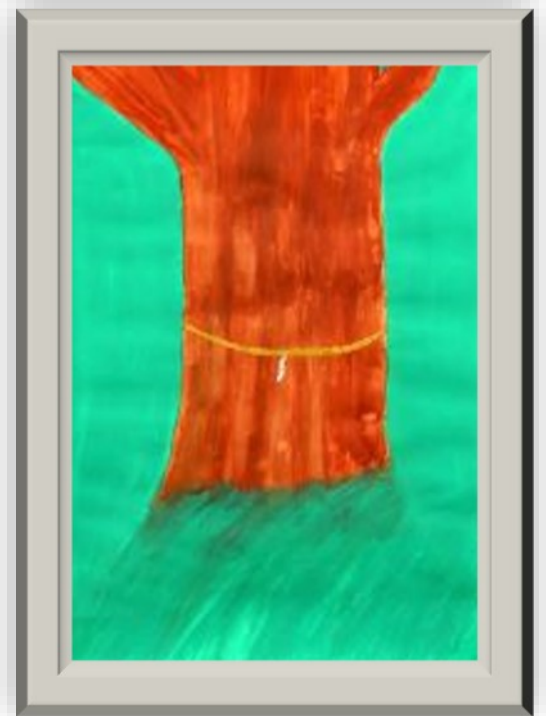


⇒右: 騎新聞 後から
⇐左: 騎新聞 前から

作: 氏田 蓮 (二年)



「御神木」 作: 重吉 彪人 (二年)

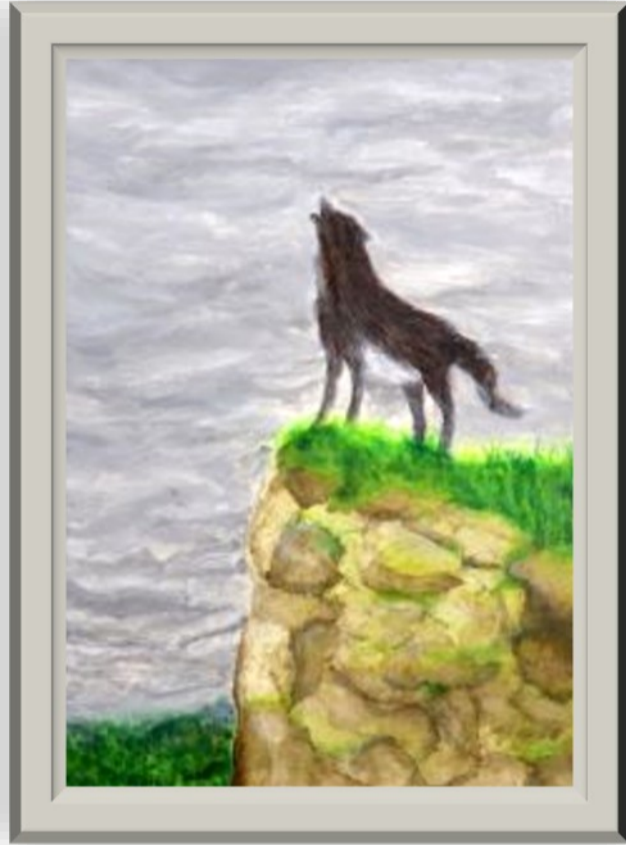


Art Gallery (10)

第69回大阪私学美術展 Web美術館ギャラリーは以下のURLから
URL <https://www.osaka-shibiken.com/>
出展されている全作品が鑑賞できますので、是非ご覧ください。

美術コース生出展作品 (東大阪大学柏原高等学校)

「ウルフ」 作：後川 晴太 (二年)



「経験と血死樹」 作：別所 威温 (二年)



「海」 作：二年 和田 大輝



「ハロウィン」 作：吉田 達矢 (二年)

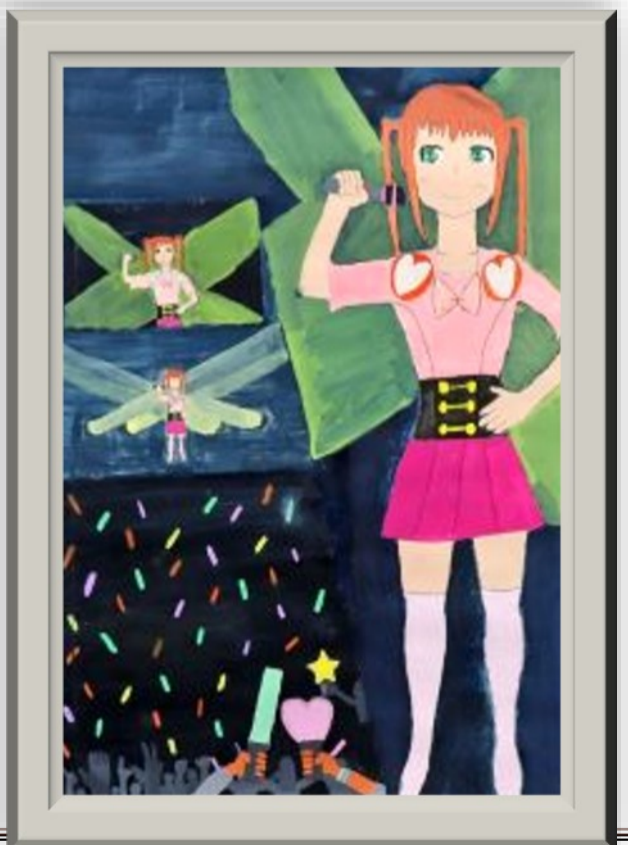
「お盆だよ 迷い込んだ妖怪大々祭り」

作：川村 柔京・仲 健太 (二年)



「音入魂、夢に向かって飛べ」

作：大谷 峻介 (三年)





東大阪大学敬愛高等学校では、10月27日(火)、新型コロナウイルス感染防止策として、場所を変えて東和薬品RACTABドーム(旧なみはやドーム)において、体育祭が行われました。敬愛高等学校では、これまで学校のグラウンドで開催していましたが、広い屋内運動場での開催で、生徒たちはいつもと違う雰囲気の中で、真剣な表情で競技を楽しんでいました。普段の授業とは違う、生徒たちのいきいきした姿が見られました。次は敬愛祭に向けて切り替えて、体育祭で得たチームワークを使い、取り組んでいこう!



東大阪大学敬愛高等学校 体育祭 開催

体育祭成績結果

- ・優勝クラスは、1S3組
- ・総合優勝チームは、Dチーム
- ・混合対抗リレーチームは、Dチーム



全学年縦割りの団体演舞は団体ごとのカラーが出ており、みんなが楽しめた演舞でした。



三年生のソーラン節は、激戦だった予選より、もっとパワーアップしており驚きました。在校生の熱い拍手がとても印象的で、優勝クラスは3C1組でした。

○「親子で遊ぼうー万華鏡を作って不思議な世界をのぞいてみようー池澤由香里・後藤由美・桑田恵美子(東大阪大学短期大学部実践保育学科)

2021年1月30日(土) Zoom使用 10:30~12:00 15名

○季節のフルーツを使ったタルトを作る。レモンマドレーヌを焼いてティータイムを楽しみましょうー岡本貴司(東大阪大学短期大学部実践食物学科)ー

2021年1月30日(土) 10:00~12:00 14:00~16:00 各18名

2020年度公開講座が決まる(東大阪大学・同短期大学部)

~市民の方々のご参加をお待ちしています!~

○災害時こそ昆虫食

ー松井欣也(東大阪大学短期大学部実践食物学科)ー

2021年1月23日(土) 13:00~14:30 30名

○神代文字の世界ー吉田 唯(東大阪大学こども学科国際教養こども学科)ー

2021年1月30日(土) 13:00~14:30 15名

○災害時のところとからだのケアー野口代(東大阪大学短期大学部介護福祉学科)ー

2021年2月6日(土) 11:00~12:00 10名

2021年2月6日(土) 13:00~14:00 Zoom使用 10名

○Society5.0に向けたSTEM人材育成教育：プログラミング教育導入の背景から、現在の日本で求められる人材を育てる教育を考えるー杉本剛(東大阪大学こども学部こども学科)ー

2021年2月6日(土) 10:30~12:00 Zoom使用 10名

2021年2月20日(土) 13:00~14:30 10名

○プログラミング体験～新たなものづくり～矢島彰(東大阪大学こども学部こども学科)ー

2021年2月6日(土) 13:00~14:30 10名

2021年2月20日(土) 10:30~12:00 Zoom使用 10名

村上学園卒業生・在学生活躍 全日本陸上競技選手権大会優勝

ー〇月一日(三日)、第一〇四回日本陸上競技選手権大会が、デンカビッグスワンスタジアム(新潟市)で開催されました。

村上学園を卒業した佐藤友佳さん(やり投げ)、津田シエリアイさん(走り高跳)、東大阪大学在学中の川田朱夏さん(ハロム)の三名が、見事、優勝を果たしました。おめでとうございます。(佐藤優香さんは、第七号で朝日新聞「オリパラ人物館」に掲載された記事を紹介しています。)

なお、全国優勝を果たした栄誉をたたえるため、十一月十六日、学園において祝勝会を開催いたします。在学中の川田選手はじめ、佐藤・津田の両選手も出席していただきます。

なお、優勝した三選手の当日の記録は、次のようになっています。

【当日の記録】	
川田朱夏選手	ハロム 優勝 2分08秒54
佐藤友佳選手	やり投げ 優勝 59m32
津田シエリアイ選手	走り高跳 優勝 1m78

★編集後記

お久しぶりです。
第十一号以来、休刊していましたが、「村上学園NEWS」を、今年度再開させていただきます。これまでも増し、紙面の充実にも努めて参りたいと思います。引き続きご愛読をお願いいたします。

さて今号ですが、未発刊のままになってしまった第二号を、掲載内容は古くなっていますが、発刊させていただきます。特集記事として、東大阪大学附属幼稚園の実践事例と東大阪大学柏原高等学校美術コース生の作品を掲載しています。

本幼稚園の実践事例は、園児たちの作品をコメントともに掲載いたしました。日々、幼稚園で取り組んでいる園児の創造性や表現力を育てる実践を感じてもらえるのではないかと思います。また、東大阪大学柏原高等学校美術コース生の作品は、大阪私学美術展展覧作品を掲載いたしました。昨年度の作品と比較し、彼らの成長を見てもらいたいと思います。昨年は、WEB展覧会となりました。

「村上学園NEWS」の休刊中、いろいろな出来事がありました。中でも本学園のシンボルとして「村上学園NEWS」の一面に毎回登場していた鹿が、高齢のため逝去しました。長い間、園児などの学園関係者のみならず地域の方々からも可愛がられていました。在りし日を偲びながら冥福を祈りたいと思います。



なお、間もなく新たに三頭が来園する予定です。学園のシンボル(マスコット)として大切にしていきたいと思っております。
(編集者 寺川誠)



https://murakami-gakuen.jp/ https://murakami-gakuen.jp/